

本科 1 期 4 月度

解答

Z会東大進学教室

高 1 難関大英語 S

高 1 難関大英語



1章 文型1

要点

■ 確認問題1

解答・解説

- (1) ティムはそのパーティーに出席していた。
- (2) 電車は通常通り運行している。
○ as usual 「いつもの通りに」
- (3) 植物は通常, 春に急速に生長する。

■ 確認問題2

解答・解説

- (1) It is getting dark outside.
○ get + C 「Cになる」
- (2) That sounds a great idea.
○ sound + C 「Cに聞こえる, 思われる」
- (3) Everything went wrong.
○ go + C 「Cになる」
- (4) Sophia looked pretty in her blue dress.
○ look + C 「Cに見える」

■ 確認問題3

解答・解説

- (1) ○ 「昨日, テリーは彼のおじの家を訪ねましたか。」
○ visit は「～ (=場所)を訪れる」の意味で主に他動詞として使われる。
- (2) married with → married [got married to] 「彼はドナとバレンタインデーに結婚した。」
○ marry は「～と結婚する」という意味では他動詞として用いられる。
- (3) entered into → entered 「彼はコロラド州に入った。」
○ enter は「～に入る」という意味では他動詞として用いられる。

■ 確認問題4

解答・解説

- A.
- (1) I sent a postcard to him.
 - (2) Father got two tickets for the film for us.

B.

- (1) 彼は自分が悪いと認めるのにかなりの努力を要した。
- cost + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を犠牲にさせる」
 - considerable 「かなりの」
 - ここでの It は to admit he was wrong を受ける形式主語。
- (2) 公園に行くのにどのくらい時間が掛かりますか。
- It takes + O₁ + O₂ to do 「…するのにO₁はO₂(=時間)かかる」
 - 本問はO₂の部分が how long となり、文頭にシフトされている。
- (3) この発明品のおかげで私たちは多くの時間と労力を節約することになるだろう。
- invention 「発明品」 < invent *vt.*
 - save + O₁ + O₂ 「O₁のO₂(=金銭・労力など)を省く」

問題

【1】

解答・解説

- (1) 「小学生たちが校庭で走っていた。」(第1文型)

Elementary students were running in a playground.

S V M

- (2) 「私の姉(妹)は編集者になった。」(第2文型)

My sister became an editor.

S V C(名詞)

- (3) 「sun と son は同じ音に聞こえる。」(第2文型)

Sun and son sound the same.

S V C

○ sound + C 「Cと聞こえる；Cに思われる」

- (4) 「私は午前4時にはっきりと目が覚めていた。」(第2文型)

I stayed wide awake at 4 a.m.

S V C(形容詞) M

- (5) 「この電車はサウスキャロライナへと近づいている。」(第3文型)

This train is approaching South Carolina.

S V O

○ approach ~ 「～に近づく」前置詞を伴わないことに注意。

- (6) 「その少年が私に博物館(美術館)への道を教えてくれた。」(第4文型)

The boy showed me the way to the museum.

S V O₁ O₂ M

第4文型は次のように第3文型でも表現できる。

The boy showed the way to the museum *to* me.

- (7) 「何も選べるものがない。」(第1文型)：There is (are) の構文は be 動詞の後に続く語句が主語となる。CやOがないので、第1文型と考える。

There is nothing to choose from.

V S

【2】

解答・解説

文型を理解した上で、正しい品詞を選べるかどうかの問題である。

- (1) good 「この牛乳は美味しい。」
(2) carefully 「慎重に運転しなさい。」
(3) happily 「少年たちは幸せそうに公園で遊んでいる。」
(4) slow 「彼はいつもゆっくりしている。」
(5) sad 「誰だって悲しくなる時はある。」

【3】

解答・解説

become / get + 過去分詞の用法を問う並べ換え問題。

- (1) She became recognized as an expert.
- (2) Where did you live before you got married?
- (3) I had got divorced (when I met Ted.)

【4】

解答・解説

本問は分詞形容詞に関する選択問題。

- (1) bored, boring 「なぜあなたはいつもそんなにつまらないそうなの？ あなたの人生は本当にそんなにつまらないの？」

bore ～は主に他動詞で用いられ、「～を退屈させる」の意味。1文目は「あなたは退屈させられた」という受動関係が成り立つので bored, 2文目は「あなたの人生は（あなたを）退屈させる」という能動関係が成り立つので, boring が正解となる。

- (2) tiring 「名古屋から東京への電車の旅は疲れた。」

tire ～は主に他動詞で用いられ、「～を疲れさせる」の意味。「名古屋から東京への電車の旅が疲れさせた」という能動関係が成り立つので, tiring が正解となる。

- (3) surprising 「その5年間の輸出の増加には非常に驚かされる。」

surprise ～は主に他動詞で「～を驚かせる」の意味。「輸出の増加が驚かせる」という能動関係が成り立つので, surprising が正解となる。

- (4) disappointed 「私はその映画にがっかりした。」

disappoint ～は他動詞で「～を落胆させる；～をがっかりさせる」の意味。「私はその映画にがっかりさせられた」という受動関係が成り立つので, disappointed が正解となる。

- (5) depressing 「その天気に憂鬱になる。」

depress ～は他動詞で「～を憂鬱にする；～を意気消沈させる」の意味。「その天気が憂鬱にさせる」という能動関係が成り立つので, depressing が正解となる。

- (6) exciting 「新しい場所に行くのはいつもわくわくする。」

excite ～は他動詞で「～を興奮させる；～を楽しませる」の意味。「新しい場所に行くことがわくわくさせる」という能動関係が成り立つので, exciting が正解となる。

- (7) satisfied 「彼はその結果に満足しないだろう。」

satisfy ～は他動詞で「～を満足させる」の意味。「彼はその結果に満足させられない」という受動関係が成り立つので, satisfied が正解となる。

【5】

解答・解説

本問の部分英作文では、他動詞・自動詞の識別が紛らわしい動詞をテーマにしている。

- (1) lay on his back

lay は lie（横たわる）の過去形。以下の語形変化を確認しておくこと。

lie - lay - lain 「横たわる；置かれている」(自動詞)

lay - laid - laid 「～を横たえる；～を置く」(他動詞)

○ back 「背中」

- (2) Look at the machine carefully

look は「見る」の意味では自動詞。前置詞 at を伴う。

- (3) we got to the theater

get は「到着する」の意味では自動詞。前置詞 to を伴う。

- (4) listened to the song on the radio

listen は自動詞で、前置詞 to を伴う。

- (5) belongs to Tom

belong は自動詞で、前置詞 to を伴う。

- (6) looked for my keys

look は前置詞 for を伴って「～を探す」の意味。

- (7) are waiting for a reply

wait は前置詞 for を伴って「～を待つ」の意味。reply に to が伴うことも覚えておこう。

【6】

解答・解説

- (1) has [had] ; There are [were], in (第3文型 ↔ 第1文型) 「私たちの町には2つの大きな公園がある [あった]。」

1文目は two large parks が has [had] のO (目的語)。2文目は are [were] がV, two large parks がS。

- (2) It rained (第3文型 ↔ 第1文型) 「先月はたくさんの雨が降った。」

1文目は a lot of rain が had のO。last month は副詞句。2文目の a lot, last month はともに副詞句。

- (3) is Tom's (第1文型 ↔ 第2文型) 「この自転車はトムのものである。」

1文目の to Tom は副詞句。2文目は Tom's がC。

- (4) to him (第4文型 ↔ 第3文型) 「あなたはその本を彼に送るつもりですか。」

○ send + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を送る」 ↔ send + O₂ + to + O₁

- (5) for us (第4文型 ↔ 第3文型) 「ポールはサラダを私たちに作ってくれた。」

○ make + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を作る」 ↔ make + O₂ + for + O₁

- (6) to me (第4文型 ↔ 第3文型) 「ジョンは私に彼の帽子を見せてくれた。」

○ show + O₁ + O₂ 「O₁にO₂を見せる」 ↔ show + O₂ + to + O₁

【7】

解答・解説

他動詞・自動詞の識別を誤文訂正の形で問うている。

- (1) arrive → arrive at 「朝は普通何時に会社に着くのですか。」

- (2) speak → speak to 「ジェーンをお願いします。」《電話口で》
speak を「～と話す」とする場合には、前置詞 to などを続ける。Japanese のような
言語などを目的語に取る場合のみ、他動詞として用いられる。
- (3) talking → talking to 「あなたが話をしていた女性は誰ですか。」
talk を「～と話す」とする場合には、前置詞 to などを続ける。
- (4) ○ 「我々は空気汚染について話し合った。」
talk about は discuss とほぼ同じ意味になる。
- (5) depend → depend on 「何時にそこに着くの。」「道路の混み具合によるよ。」
depend は on を伴って「～次第である」の意味になる。
- (6) ○ 「ニックは自分の権利を主張した。」
insist は on を伴って「～を主張する」の意味。that 節が目的語として続く場合には
他動詞として用いられる。
- (7) answered to → answered 「誰も電話に出なかった。」
answer は「～に答える」という意味では他動詞として用いられる。
- (8) resemble to → resemble 「その姉妹はお互い性格が似ている。」
resemble は他動詞のため、前置詞は伴わない。

【1】

解答

- (1) boring
- (2) depressing
- (3) tiring
- (4) surprising
- (5) exciting
- (6) satisfied

【2】

解答

- (1) I left New York for Chicago this morning.
- (2) This will do as a bed.
- (3) My wife lay on her back.
- (4) The product sold well in this store.
- (5) What went wrong?
- (6) How long does it take you to get to the station?

2章 文型2

要点

■ 確認問題 1

解答・解説

- (1) The villagers thought him a fool.
○ think + O + C 「OをCと思う」
- (2) Calcium makes our bones strong.
○ make + O + C 「OをCにする」
- (3) Please leave the windows open.
○ leave + O + C 「OをCのままにしておく」
○ 本問の open を opened にしないよう注意すること。
- (4) My father painted the wall white.
○ paint + O + C 「OをC (= 色) に塗る」
- (5) They appointed Nelson admiral.
○ appoint + O + C 「OをCに任命する」
○ 本問の admiral のように「唯一の役職」を表す場合には、通例無冠詞で名詞を用いる。
- (6) He was named Joe after his grandfather.
○ name + O + C 「OをCと名づける」
○ after はここでは「～にちなんで」という意味。
○ 「～の名をとって」という日本語の類推から、He was named Joe after his grandfather's name. としないようにすること。

■ 確認問題 2

解答・解説

A.

- (1) arguing 「彼女は両親が口論しているのを見た。」
「彼女の両親が口論する」という能動関係が成立するので、arguing が正解。
- (2) waiting 「私の妻を外で待たせっ放しにするな。」
「私の妻が待つ」という能動関係が成立するので、waiting が正解。
- (3) announced 「自分の名前が勝者として発表されるのを聞いた。」
「私の名前が発表される」という受動関係が成立するので、announced が正解。

B.

- (1) 私は自分の部屋に電話を取りつけてほしいと願っている。
○ have + O + 過去分詞 「Oが…されるようにさせる、してもらう」
- (2) 私の上司はその仕事を定刻までに終わらせてしまうだろう。
○ get + O + 過去分詞 「Oが…されるようにさせる、してもらう」

- (3) 当時, 私たちはいつも酔った人たちがプラットホームで口論しているのを見た。
○ quarrel 「口論する」

■確認問題3

■解答・解説

A.

- (1) 税関検査官はメグに鞆を開けさせた。
○ make + O + 原型不定詞「Oに…させる」
- (2) 彼女は彼らが壁を乗り越えるのを見て, その行動を警察に報告した。
○ see, watch, feel などの知覚動詞は S + V + O + 原形不定詞の構文を作る。

B.

- (1) I was made to clean the windows by Tim. 私はティムに窓の掃除をさせられた。
- (2) We were seen to run to the taxi by Lisa. 私たちはリサにタクシーに走っていくのを見られた。
- (3) Tom was heard to talk about his new book in the café. トムはカフェで自身の新しい本について話しているのを聞かれた。

添削課題

【1】

解答

- (1) stolen
- (2) crying
- (3) announced

【2】

解答

- (1) 私は娘がクラスメートとパーティーに行くのを許した。
- (2) 彼女はその仕事を定刻通りに終わらせるだろう。

【3】

解答

- (1) He found the story boring.
- (2) I couldn't get her to understand what I said.
- (3) Jack saw the kids climb over the wall.

問題

【1】

解答・解説

- (1) President, 名詞「人々は彼を大統領に選んだ。」
 - elect + O + C「OをCに選ぶ」
- (2) What, 疑問詞「この花を英語で何と呼びますか。」
 - call + O + C「OをCと呼ぶ」
 - in English「英語で」この in は「手段」の意味。by English としない点に注意。
- (3) happy, 形容詞「その陽気な歌で私は幸せな気分になった。」
 - make + O + C「OをCにする」

【2】

解答・解説

- (1) 「私は誰かが庭で歌っているのを聞いた。」
 - hear + O + …ing「Oが…しているのを聞く」
- (2) 「彼女は雨の中で私を待たせた。」
 - keep + O + …ing「(意図的に) Oを…しているままに保つ」
- (3) 「ケンは裏口に鍵をかけたままにしていた。」
 - keep + O + 過去分詞「Oが…された状態にしておく」
- (4) 「私は車を洗ってもらっている。」
 - have + O (物・事) + 過去分詞「Oを…してもらう」〔使役〕
- (5) 「マイクはけんかで鼻を折られた。」
 - have + O (物・事) + 過去分詞「Oを…される」〔被害〕
- (6) 「私は子供たちが遊ぶのを見ていた。」
 - watch + O + 原形不定詞「Oが…するのを見る」
- (7) 「私は彼に自分が言ったことを理解させられない。」
 - get + O + to do「Oに…してもらう〔させる〕」
 - what〔先行詞を含む関係詞〕「～すること」(= the things which ～)
- (8) 「父は私とその国を出るのを許さないだろう。」
 - let + O + 原形不定詞「Oに…させる〔Oが…することを許す〕」

【3】

解答・解説

S V O CのCが原形不定詞になるか、過去分詞になるか、その他になるかは、Vの種類とOの立場で考える。

- (1) burning
知覚動詞。何かが「燃えている」と考える。「燃やしている」ではない。

(2) started

使役動詞。「正しい方法でやっている（と思う）のに機械が動かない」場合、このように言う。機械を動かす方法を知らないからできない、という意味と区別する言い方。

(3) touch

知覚動詞。何か「触れる」という関係が成り立つので、「…される」の意を表す過去分詞にはならない。

cf. I saw a dog touched by children. (犬が子供たちに触られるのを見た。)

(4) stolen

使役動詞。自転車が「盗まれる」と考える。

(5) reading

catch + O + …ing (Oが…しているのを見つける) は、よくないことをしている現場を目撃するという意味合いで用いられることが多い。

【4】

解答

(1) 「彼らがテニスをしているのを、私は見かけた。」

○ see + O + …ing 「Oが…しているのを見る」

(2) 「その犬が吠えているのが聞こえましたか。」

○ bark 「吠える」

(3) 「今朝、何か私のベッドで動いているのを感じて目が覚めた。それは我が家のネコだった。」

○ feel + O + …ing 「Oが…しているを感じる」

(4) 「エンジンをつけっ放しにしないで。」

○ leave + O + …ing 「Oを…しているままにしておく」

○ engine 「エンジン」

(5) 「彼はワイシャツのアイロンがけをしてもらった。」

○ have + O (物・事) + 過去分詞 「Oを…してもらう」〔使役〕

【5】

解答・解説

(1) helped me (to) do [wash]

○ help + O + 原形不定詞 「Oが…するのを助ける」 (= help + O + to do)

(2) kept them running

they were running の関係が成り立つので、Cには現在分詞を用いる。

○ keep + O + …ing 「Oを…したままにする」

(3) let me know

○ let + O + 原形不定詞 「Oに…させる [Oに…することを許す]」

【6】

解答・解説

本問では、S + V + O + 原形不定詞を受動態に書き換える際には、to が必要になる点を確認する。

- (1) She has been made to return the money (by them).
- (2) She was seen to enter his study (by him).
- (3) Something was felt to touch me on the shoulder.

【7】

解答・解説

- (1) 「全訳」下線部(1)参照。
 - A is one thing and B is another. 「AとBは別のことである。」
 - quite : まったく、完全に
- (2) (2) understood
 - make *oneself* understood 「自分の考えを人にわかってもらう」
- (3) (3) to speak
 - expect ~ to *do* 「～が…することを期待する」
- (3) ウ : 主格補語となる名詞句を導く to 不定詞。
ア (学内で君に会えるなんて、嬉しい。) 副詞用法の to 不定詞。
イ (温かい飲み物をもらおうか。) 形容詞用法の to 不定詞。
ウ (私の考えは、日本語ではなく英語で書くことだ。)

全訳

ある日本人の新聞記者によれば、(1)英語を話すことと聞くことはまったく別のことであると
言う。誰でも発音がよければ、英語で自分の意思を伝えることができる。

しかし、他人が正しい英語を話すことをいつも期待できるわけではない。ヒアリング能力を
向上させる最善の方法の1つは、イギリスやアメリカの映画を見に行くことだと彼は言う。

【8】

解答・解説

- (1) I saw him reading (a book) in the park.
- (2) I found our cat sleeping on my desk.
「見つけた」は found だが、誰が見つけたのか日本語はいちいち言わないことが多い
ので、自分で考えて英語にしなくてはならない。
- (3) Don't leave (the) water running [flowing].
「出しっぱなしにするな」は、動詞 leave を用いて、「O = Cの状態を放置するべから
ず」という否定の命令文にする。
 - run [flow] 「流れる」
- (4) I had my camera repaired [fixed].
使役動詞 have は、店などでお金を払って「頼む」時によく用いる。

3章 時制 1

要点

■ 確認問題 1

解答

- (1) What do you usually do on weekends?
- (2) What time [When] does this train arrive at the station?
- (3) I asked him if he would go there the next day.

■ 確認問題 2

解答

- (1) My mother used to read a book to us [read us a book] every night.
- (2) World War II ended in 1945.

■ 確認問題 3

解答

- (1) Eric is getting married next month.
- (2) I'm too tired to walk home. I think I'll take a taxi.
- (3) I'm going to visit Anna tonight.

問題

【1】

解答・解説

- (1) does (「ジョンは食べすぎる。」「うーん、彼は昔は今よりもっとたくさん食べたものだった。」)
- used to *do* : 過去の習慣的行為を表す。
 - does = eats : 現在の習慣を表す。
- (2) often went (若い頃私はよく川へ釣りに行った。) : 過去の習慣。often など頻度を表す副詞は一般動詞の前にくる。
- (3) lay (彼は病気だったので1日中ベッドに横になっていた。)
- lie *vi.* - lay (過去) - lain (過去分詞) 「横たわる」
 - all day long = all (the) day 「1日中」
- (4) laid (昨日スミス氏は演説の中で世界平和を非常に強調した。)
- lay *vt.* - laid (過去) - laid (過去分詞) 「～を横たえる, ～を置く」
 - lay [place; put] emphasis on ~ 「～を強調する, ～を力説する」
- (5) is (明日晴れたら私たちは泳ぎに行くつもりだ。) : 時や条件を表す副詞節の中では未来の事柄は現在形で代用する (単純未来の *will* は用いない)。
- go for a swim = go swimming
- (6) comes (彼が戻って来るまで私はここで待つつもりだ。)
- until ~ 「～まで」時を表す副詞節を導く。
- (7) arrives (彼が到着するとすぐに彼らは出発する予定だ。)
- as soon as ~ 「～するとすぐに」時を表す副詞節を導く。
- (8) will pass (彼女がその試験に合格するかどうか私は分からない。) : *if* は名詞節を導くので未来の事柄は未来を示す表現を用いる (単純未来の *will* を使用)。

【2】

解答・解説

- (1) do, do
- (2) going to read, bought
- (3) about to be
- be about to *do* 「今にも…しそうである」
- (4) are to
- be to *do* 「…することになっている」「公式の予定’, ‘手はず’を表す際に使う。
- (5) Do : 日本語では「わかりましたか。」と過去の形で言うが、英語では現在形を使う。
cf. I am surprised. (驚いた。)
- (6) used to

【3】

解答・解説

- (1) Last week we [I] bought (some) furniture for the new home.
別解 Last week we [I] purchased some pieces of furniture for the new home.
- (2) Because he looks better, he is going to get well soon.
「顔色がいい」という証拠に基づいた予測であるので、be going to do を用いる。
- (3) She works for this company.
この場合の「働いている」は、当分変わりそうにない現在の事実なので現在形で表す。
- (4) Put the book away before the children find it.
before 以下は時を表す副詞節なので、未来の事柄を表すのに現在形を用いる。
○ put ~ away 「～を片付ける、しまう」
- (5) My watch was five minutes slow, so I missed the train.

【4】

解答・解説

- (1)
- (a) オ (一体どうやって彼を見つけるのだろう。)
○ ever 「一体」(強意語)
- (b) エ (そのようにすれば必ず彼に会えるよ。)
○ (in) that way 「そのようにすれば」前置詞 in は省略可。
○ miss ~ 「～を見つけ損なう」
- (c) ア (だけど他のフライト番号もたくさん点滅しているよ。)
○ so = blinking : 「～もまた」という意味を表す so の後では S V は倒置される。(= But many other flight numbers are blinking, too.)
- (d) ウ (彼が出て来た時、彼に何と言えればいいんだい?)
- (e) キ (とても簡単そうに言うね。) ←直訳「君はそれを簡単に聞こえるようにさせる。」
○ sound + C 「Cのように見える, Cのように聞こえる」
その他の選択肢の意味は次の通り。
イ (彼はパスポートを見せる必要がある。)
カ (ちょうど今飛行機が着陸しているのが見える。)
ク (その荷物が出口をふさいでいる。)
- (2) 「全訳」下線部(1), (2)参照。
- (1) Are you sure John is flying to Japan today?
○ Are you sure (that) ~? 「～を確信していますか」
○ is flying : 現在の予定に基づく未来の事柄を表す。
- (2) You go to the North Exit and I'll check the South Exit.
○ You は命令文の主語。命令文で you の主語が表されるのは、否定文で命令を強めたりする場合や、肯定文で対照を示したりする(特に相手に指示したりする)場合で、you は強く発音される。

全訳

トムとジムは成田空港で友達のジョンを迎えに来ている。

トム：(1) ジョンが今日飛行機で日本にやって来ることは確かなの？

ジム：もちろんさ。彼の手紙を君も読んだだろ？ 19日に到着する予定だと彼は書いていたよ。今日がその日さ。

トム：あのいっぱいの人を見て！ まるでラッシュアワーの新宿駅のようだ。(a 一体どうやって彼を見つけるのだろう。)

ジム：出口はたった2つしかないから、彼はどちらか一方から出てくるに違いない。(2) 北口に行ってくれ、僕は南口を調べるよ。 (b そのようにすれば必ず彼に会えるよ。)

トム：それはいい考えだ。でもどうやって彼がもう出てくる時間だとわかるの？ ことによると1日ここにいることになるかもしれないよ。

ジム：到着便の掲示板が見えるかい？ そしてその掲示板のまん中から下の方に JAL241 便があるの見えるかい？ 明かりが点滅しているよ。あれは乗客が今税関を通過していて、間もなく出てくることを示しているんだ。

トム：本当だ。点滅している。(c だけど他のフライト番号もたくさん点滅しているよ。) 彼らは皆同時に税関を通過しているの？

ジム：そうに違いない。あれはそういうことさ。北口に行ってみてくれないか。僕はここにいるよ。

トム：(d 彼が出て来た時、彼に何と言えればいいんだい？)

ジム：ちょっと彼に挨拶して、彼を南口まで連れてきて僕に会えば、それから僕らの家に連れて行けるよ。

トム：(e とても簡単そうに言うね。)

ジム：僕の言うことを信じてくれ、簡単さ。僕が言うようにやっておけば、万事うまくいくよ。

トム：おお、見て！ 彼がいる！ ジョン！ ジョン！ こっちだよ！ 彼は僕らを見ているよ。

ジム：ほらごらん。万事うまくいくと言った通りさ。

注

- ℓ. 1 ○ pick up ~ 「～を迎える」 ↔ see ~ off 「～を見送る」
- ℓ. 3 ○ he was coming in : 現在の予定に基づく未来の事柄を表すが、時制の一致により過去進行形になっている。
 - come in 「到着する」
- ℓ. 5 ○ It looks like Shinjuku Station at rush hour.
 - look like ~ 「～のように見える」
 - Shinjuku Station : 駅名は通例無冠詞で語頭は大文字。
- ℓ. 6 ○ has to 「(この場合は) ~に違いない」 (= must)
- ℓ. 8 ○ could 「～かもしれない」 can よりも控えめな現在時における「推量」。
- ℓ. 15 ○ That's what it means. 「それがそのことが意味していることだ。」
 - Why don't you do? 「…してはどうだい」 (= Why not ~?)

- ℓ. 18 ○ just + 命令文「まあちょっと…してごらん」命令を和らげる。
 ○ 命令文, and …「～しなさい, そうすれば…」 cf. 命令文, or …「～しなさい, さもないと…」
- ℓ. 22 ○ There he is. : He is there. の倒置形 (there が文頭に来ると S V は V S になるが, S が代名詞の場合は S V のままである)。
 ○ over here 「こちらに」 cf. over there (向こうに)
- ℓ. 23 ○ work out 「(計画などが) うまくいく」

【5】

解答・解説

基本的に「意図」を表す場合, その場で生じた意図 → will, 前もって明らかにしていた意図 → be going to という使い分けをする。その場の状況に応じて生じた意図 (A) か, あらかじめ考えていた意図 (B) かは, 文の前後関係から判断できる。この解説では前者を (A), 後者を (B) と表記する。

- (1) will call, will translate 「私はこの手紙が理解できません。」「じゃあ息子に電話してみましょう。息子なら訳してくれるわ。」
 相手の I can't understand this letter. という言葉を聞いて思いついた意図なので (A)。
- (2) won't lend 「定期券を貸して下さい。」「いいえ, 貸せないわ。法律に反しますもの。」
 Will you lend me your season ticket? を受けての発話なので (A)。
 ○ season ticket 「定期乗車券」 (= commutation ticket 《米》)
- (3) will ask 「たった今, 兄がアメリカから帰ってきました。」「よかったわ。次のパーティーにお兄さんを招待することにするわ。」
 ○ My brother has just returned from America. を受けての発話なので (A)。
 ○ ask ~ 「～を招待する」 (= invite)
- (4) am going to get 「なぜ5時半に目覚まし時計が鳴るようにしていたのですか。」「なぜならその時に起きようと思っているからです。私にはやらなければならないことがたくさんあるのです。」
 目覚ましを5時半にかけたのは, I've got a lot to do. とあるので (B)。
- (5) will make 「とっても寒そうね。暖炉のそばに座りなさい。紅茶を入れてあげるわ。」
 ○ You look frozen. と思ってからの発話なので (A)。
 ○ make ~ some tea 「～のために紅茶を入れる」 (この some は社会的な常識によって定められたある量を示唆する。)
- (6) am going to give 「私はタバコを買わなかったわ。なぜならやめようと思っているからよ。」
 I haven't bought any cigarettes. の発話以前にあらかじめ考えられていた意図なので (B)。

(7) will give 「6時30分の電車に乗ろうと思っているの。」「僕もだよ。だったら駅まで乗せてあげるよ。」

I'm catching the 6:30 train. という言葉を聞いて思いついた意図なので (A)。

○ so + V' + S 「Sもそうである」

○ give ~ a ride 「~を車に乗せてやる」

(8) are you going to do 「この先10年の計画を立てました。」「それは頭がよいこと！ 大学を卒業したら、何をするつもりなの？」

I've planned my future for the next ten years. と既に言っているので、「あらかじめ考えていた意図」を聞くことになる。よって (B)。

添削課題

【1】

解答・解説

- (1) There used to be a police box on the corner
助動詞 used to は過去の状態「(かつては)…だった」を表す。There used to be ~((かつては) ~があった) は There is [are] ~に助動詞 used to が加わったもの。
- (2) I don't know if it will rain tomorrow, but if it rains, I will not go.
(明日雨が降るかどうかわからないが、もし雨が降ったら、私は行かない。)
もとの英文の if it rains tomorrow (明日雨が降るかどうか) は他動詞 know の目的語となる名詞節。よって、未来のことは未来表現を用いて表す。
もとの英文の but に続く if it will rain (もし明日雨が降ったら) は条件を表す副詞節なので未来のことを表すのに現在形を用いる。
- (3) 首相は明日声明を発表する予定である。
be to *do* によって公式行事の予定を表す。
○ make a statement 「声明を発表する」

【2】

解答・解説

- (1) ウ: 「子供だった時」という過去のある時点を表し、主語が I なので was。
(2) エ: 過去時について述べており、主語が they なので were。
(3) ウ: told の時制の一致を受けて、(3) selling them の主語は the man なので was。
(4) イ: 会話部分。現在形を用いる。主語が The flowers なので are。
(5) ア: 会話部分。現在形を用いる。主語の this bunch は単数なので is。
(6) ウ: 過去時について述べており、主語が The old man なので was。
(7) イ: 会話部分。現在形を用いる。主語が The flowers なので are。
(8) ウ: 過去時について述べており、主語が The number なので was。

全訳

子供の頃、私の家族はユーゴスラビアへ行った。両親はその言語を勉強したので、買い物や、他の重要な用事はすることができた。

ある日市場で買い物をしていた時に、母は花を見つけた。「きれいな花ね。この束はいくらかしら」と花売りに尋ねた。

その年配の男(花売り)は教育を受けていなくて、母が理解できないなまりで答えた。また彼は紙に書きたがらなかった。しかし、ついに1枚の紙に「100205」と書いた。

母は驚いて、「高すぎるわ」と言った。

当時の1ディナールは今日の約10円の価値があった。彼女はその数字をよく見て、それから納得した。数字は「100」と「20」と「5」だった。その男はその数の桁を1列に横並びに書いたのだった。母が125ディナールを見せると、喜んで花を渡してくれた。

E1TS/E1T
高1 難関大英語 S
高1 難関大英語



会員番号	
------	--

氏名	
----	--

不許複製